

拳勝館 加盟団体 殿

空手アカデミー拳勝館 事務局

「第46回 空手アカデミー拳勝館 選手権大会」開催の件

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より拳勝館の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「第46回 空手アカデミー拳勝館 選手権大会」を下記の通り開催致しますので、ご案内申し上げます。

また、開催に先立ち、後述内容にて代表者会議を行いますので、ご出席頂けますようお願い致します。

敬具

記

【大会要綱】

1. 大会名

「第46回 空手アカデミー拳勝館 選手権大会」

2. 主催・共催

主催：空手アカデミー拳勝館

共催：藤沢市空手道連盟

3. 開催時期

令和6年3月17日（日）午前8：00集合 午前9：30開会

（午前8：00体育館開館、役員は午前8：00集合、招待審判の方は午前9：00集合）

4. 会場

秩父宮記念体育館（8：00開場）

〒251-0026 藤沢市鶴沼東8-2 TEL. 0466-22-5335 FAX. 0466-28-5749

5. 大会役員

大会会長 木村 研治

大会副会長 杉山 保

大会顧問（順不同） 星野 つよし、市川 和広、井上 裕介

大会実行委員長 行田 元

大会実行副委員長 滝内 一夫、坂尻 茂、灰野 辰男、佐藤 秀喜、関野 治夫、相良 隆政

大会審判長 武蔵 辰也

大会副審判長 木村 久乃、小屋敷 律子

大会事務局長 小澤 希好

大会事務局次長 滝内 洋子、板垣 紀恵、荒木 慎太郎、荒川 章、菅原 巧、木村 江里

6. 競技方法及び種別

全日本空手道連盟組手競技規定及び同形競技規定に準ずる。

各種目を実施する最低人数は、3名とする。

人数が4名未満の競技は、大会実行委員長が競技の統合を決定する。

形競技は参加人数によって、男女混合の部とする。

緑帯でも、通常カテゴリーに参加は可とする。

マイ帯（赤・青）の使用は可とする。

(1) 形の部

- ・フラッグ制とする。
- ・二人同時に演武する。但し、決勝のみ一人ずつ演武する。
- ・但し、人数が3名以下の場合はリーグ戦【得点制】とする。
- ・基本形とは、ピンアン、ハイアン、ゲキイ、タキヨ又はハイファンチのいずれかとする。
- ・演武中、待機中のマスク着用は任意とする。
- ・競技内容は以下の通りとする。

NO.	種目	制限
1	幼年男子	1回戦からベスト16までは基本形とし、同一形を繰り返しても良い。ベスト8からは別の基本形か又は（財）全日本空手道連盟第一及び第二指定形（以下単に「指定形」という）に変更しても良く、ベスト8から決勝まで変更後の同一形を繰り返しても良い。（決勝まで同一形でも良い。）
2	幼年女子	
3	小学1・2年生男子	
4	小学1・2年生女子	
5	小学3・4年生男子	1回戦からベスト16までは基本形とし、同一形を繰り返しても良い。ベスト8からはベスト16までに使用した形とは別の基本形か又は指定形又は得意形に変更しなくてはならない。なお、ベスト8から決勝まで変更後の同一形を繰り返しても良い。（決勝まで2つ以上の形が必要。）
6	小学3・4年生女子	
7	小学5・6年生男子	
8	小学5・6年生女子	
9	白黄緑帯の部	ピンアン、ハイアン、ゲキイ、タキヨ又はハイファンチのいずれか（以下「基本形」という）とし、決勝まで同じ形を繰り返しても良い。但し、ベスト8からは基本形の中で、ベスト16までに使用した形を変更しても良く、ベスト8から決勝まで変更後の同一形を繰り返しても良い。（決勝まで同一形でも良い。）
10	小学3・4年生男女 小学5・6年生男女	
11	中学生男子	1回戦からベスト16までは基本形又は指定形とし、同一形を繰り返しても良い。ベスト8からはベスト16までに使用した形とは別の基本形若しくは指定形又は得意形に変更しなくてはならない。なお、ベスト8から決勝まで変更後の同一形を繰り返しても良い。（決勝まで2つ以上の形が必要。）
12	中学生女子	
13	一般有級男子	
14	一般有級女子	
15	一般有段男子	1回戦からベスト16までは指定形とし、同一形を繰り返しても良い。ベスト8からはベスト16までに使用した形とは別の指定形又は得意形に変更しなくてはならない。なお、ベスト8から決勝まで変更後の同一形を繰り返しても良い。（決勝まで2つ以上の形が必要。）
16	一般有段女子	
17	マスターズ（30歳以上）男女混合	

(2) 組手の部

- ・ トーナメント制で全てフルタイムとする。
但し、人数が3名以下の場合はリーグ戦とする。
- ・ 拳サポーター（幼年・小学生はリバーシブルか白）、プロテクター（一般有段男子は任意。）、メンホー、セーフティカップ（中学生以上の男子は義務。小学3年生以上は着用が望ましい。）、中学生以上はシンガード、インステップガードは必須、小学生、幼年は任意。（白・赤色青色も可。）
※メンホー：幼児から全員着用（マウスシールドまたは透明テープ、マスクの着用は任意）
- ・ 拳サポーターは、赤、青の他、白を認める。但し、禁止事項として以下のことを定める。
青の選手が赤の拳サポーターを着用することは認めない。
赤の選手が青の拳サポーターを着用することは認めない。
- ・ シンガード、インステップガードは、赤、青の他、白を認める。但し、禁止事項として以下のことを定める。
青の選手が赤のシンガード、インステップガードを着用することは認めない。
赤の選手が青のシンガード、インステップガードを着用することは認めない。
- ・ 待機中のマスク着用は任意とする。
- ・ 団体戦について
小学生男子の部、小学生女子の部・・・各団体2チームまでエントリー可、1チーム3名とする。
先鋒・・・小学1・2年生から1名
中堅・・・小学3・4年生から1名
大将・・・小学5・6年生から1名

中学生・一般の部・・・各団体より希望者を募り、赤青チームを当日くじ引きで決定する。
男女混合チームで行う。
参加費無料。
- ・ 競技内容は以下の通りとする。

NO.	種 目	競技時間	勝 負
1	幼年男子	1分	6本先取にて勝敗を決定
2	幼年女子		
3	小学1年生男子		
4	小学1年生女子		
5	小学2年生男子		
6	小学2年生女子		
7	小学3年生男子		
8	小学3年生女子		
9	小学4年生男子		
10	小学4年生女子		

11	小学5年生男子	1分30秒	同上
12	小学5年生女子		
13	小学6年生男子		
14	小学6年生女子		
15	中学生男子		
16	中学生女子		
17	一般有級(高校生以上)男子		
18	一般有級(高校生以上)女子		
19	一般有段(高校生以上)男子		
20	一般有段(高校生以上)女子		
21	マスターズ(30歳以上)男子	1分	4本先取にて勝敗を決定
22	マスターズ(30歳以上)女子		
23	団体戦		

(注) 競技時間は、選手の参加状況により、大会当日までに変更することもある。

7. 表彰

- ・登録者数が3名～6名の場合は優勝のみとし、賞状及びメダル等を授与する。
- ・登録者数が7名～8名の場合は、優勝及び準優勝のみとし、賞状及びメダル等を授与する。
- ・登録者数が9名～15名の場合は、優勝、準優勝、第三位2名とする。
- ・登録者数が16名以上の場合には、優勝、準優勝、第三位2名及び第五位4名とする。
優勝、準優勝及び第三位には、賞状及びメダル等を授与し、第五位には賞状のみを授与する。

8. 参加資格

空手アカデミー拳勝館所属団体に所属している者、または空手アカデミー拳勝館首席師範の認められた者。

【大会細目】

9. 申し込み

(1) 申込み方法

- ・下記の申込み先よりメール配信された申込み書類に必要事項を記入し、下記の締切日までに、申込み送付先にメールする。また、参加費と団体会費は、下記の締切日までに、振込み先に振り込む。締切日までに、上記書類ならびに入金がなかった場合は、不参加と見なす。
- ・参加費は、選手1人1種目2,000円とする。
2種目に参加する場合は、選手1人4,000円とする。
団体組手参加の場合は、団体組手参加費は1チーム1,500円とする。
- ・団体広告費は、1団体10,000円とする。

(2) 締切日

拳勝館審判員の申込み書類の締切日 令和5年12月15日(金) 締切 メールにて必着

優秀選手の締切日 令和6年2月1日(木) 各支部から富士ソフト企画株式会社内
空手アカデミー拳勝館選手権大会係宛
メールにて必着

その他の申込み書類の締切日 令和6年2月1日(木) 各支部から富士ソフト企画株式会社内
空手アカデミー拳勝館選手権大会係宛
メールにて必着

入金の締切日 令和6年2月12日(月)～2月19日(月)

(3) 申込み送付先

<拳勝館審判員の申込み書類>

武蔵先生 メールアドレス : g.musashi.634@gmail.com

<その他の申込み書類>

〒247-0072 神奈川県鎌倉市岡本 2-13-18

富士ソフト企画株式会社内 空手アカデミー拳勝館選手権大会係宛

メールアドレス : karate-fj@fsk-inc.co.jp

(4) 振込み先

ゆうちょ銀行 店番 287 普通 9581488 木村 研治

10. 代表者会議

日時 令和6年2月11日(日) 13:00～15:00

出席者 各競技団体の代表者1名以上

※当日の試合(案)について決裁を行うので、参加団体の代表者1名以上が参加するものとする。

代表者会議に不参加の(開始時刻に出席が無い)場合は、参加者に無条件に協議ならびに決裁を委任したものと見なす。また、送付された書類の内容の変更や、入金の払戻しは、一切受け付けないものとする。

会場 秩父宮会議室(拳勝館事務局(空手アカデミー拳勝館本部道場))

(〒251-0053 藤沢市本町1-8-26 TEL. 及び FAX. 0466-23-6570)

内容 ・要項の説明及び競技ルールの徹底

・競技用具の員数チェック結果の確認

・団体からの審判員の確定と招待審判員の最終手配

・競技組合せの決裁

・領収書の発行(後日)

注意事項 ・各団体は、代表者会議前に事務局より各団体に送られた組合せ表(案)(当日配布)の内容を確認し、不備や不足、誤り等があればそれに朱記訂正したものを2月10日(土)までに下記の問い合わせ先に申し送りすること。

・選手の名前が誤っている場合は、その通り賞状が印刷されるものとし、確認を徹底する。

・代表者会議に欠席した場合で、組合せに訂正がある団体は、前述の朱記訂正した組合せ表(案)を、代表者会議に付議できるよう2月10日(土)までに下記問い合わせ先に申し送りすること。

・競技用具を保管している団体は、用具入れに同梱してあるチェック表で、員数チェックを行い、代表者会議に持参すること。

11. 問い合わせ先

大会実行委員長 行田 元 メールアドレス : g.hazime@k-sekiyuu.co.jp

12. その他

(1) 補助役員

補助役員の配置は以下の通りとし、配置者を各団体から選出する。

6コート×6名＝36名…事前招集、整列

1コート6名、各コートの担当は以下の通りとする。

1コート：北部、2コート：栄、3コート：川崎、二子玉川、4コート：六会、

5コート：寒川、6コート：本部、

本部席：4名（内訳：審判長補助 座間2名、事務局補助 座間2名）

（来年度から他の支部が担当する、その後、支部ごとに交代）

接待：6名 …茅ヶ崎

下足：4名 …六会、北部

選手招集：6名 …平塚、本部

合計：56名

(2) 補助役員は腕章を着用するものとし、腕章又はネームプレートを事務局にて準備する。

(3) 幼年、小学1・2年生の選手は、背中に姓名をひらがなで書いた(黒字)、縦10cm横20cmの白布を縫いつけて(または同等のものを付けて)参加するものとする。(万が一、忘れて来た選手の為に、事務局で同等の幅のテーピングを準備する。)

(4) 招待審判員には、大会会長が手配した記念品を贈呈するものとする。

(5) 申込みの受付からプログラムの作成は、外注するものとする。

(6) 競技用具は、競技用具を保管している団体にて確認する。

(電池切れは、各自で購入して入れ替え、小澤先生に、領収書を添えて費用請求する。)

(7) 各団体からの審判員は、「参加申込書」に資格、主審の可否、氏名を記載し、前述の申込み書類の締切日まで各団体から回答する。

(8) 形は第45回大会の1位と2位をシード選手、組手は第45回大会の1位～3位をシード選手とする。

(9) 各団体から提出される、参加メンバー表の内容は、誤りがないものとする。

(10) 当日の参加については、認めないものとする。

(11) 拳勝館の指導員および門下生で大会役員の者は、拳勝館のエンブレムとネクタイを着用のこと。←ネクタイない方もいるので類似OK!大会審判長に確認済

(12) 速やかな大会運営のため、開会式後の準備体操は行わない。

(13) 選手宣誓は北部支部（前回は本部、今回は滝内先生にて確認する。）から選出する。

(14) 補助役員1名につき弁当と千円を支給する。

(15) 以下の条件に該当する拳勝館門下生は、優秀選手表彰の対象者とする。

尚、対象の大会は令和5年度 2023年1月1日から同年12月31日までに開催されたものとする。

・ 県大会優勝者

・ 関東大会で3位までに入賞

・ 全国大会でベスト8までに入賞

(16) 小学生以下は申し込み並びにプログラム、競技結果報告書に読み仮名を入れる。

(17) 時間短縮のため各コートにて、(形・幼年・小1男女の選手を予め招集しておく。)

(18) 組手及び形ともに、ラウンド毎に締めはしない。

(19) 開会式で、選手宣誓選手、優秀選手ともに、予め前列に並ばせておき、時間短縮する運用とする。

(20) 以前、子供が遊んでいると体育館からクレームがあった。各支部で事前注意を徹底する。

また、警備の担当(事務局等)にて定期的に館内監視・整備を行う。

- (21) 欠席者は、欠席届を当該支部からコート長に当日朝提出し、呼び出し後の待ち時間を短縮する運用とする。
- (22) 招待審判の反省会費は、頂かないものとする。
- (23) 形競技では斜めに入り開始線で礼、形が終了時礼、後ろに下がって判定を聞き、お互いに礼、正面に礼。
(代表者会議、大会審判長に確認)このままで、決勝は1名演武。
- (24) コート別進行予定表は、有段の形と組手を最初に行い、試合後有段者で審判等が行えるようにする。
- (25) 組み合わせは、一回戦を行った選手が即時2回戦を行わないように配慮する。
- (26) 冊子の部数は、選手1人1部とする。
- (27) 第36回より、競技にマスターズ部門を新設する。(男性30歳以上、女性30歳以上で一般との選択制)
- (28) 各支部の旗は、きれいに配置するよう、開会前に整備することとする。
- (29) 観客席はゆずりあいをし、紐等での場所取りを禁止するよう、各団体に徹底する。
- (30) 秩父宮にある1コートだけマットを使用する。
- (31) 選手が体育館内をはだして走りまわらないことを、各支部で事前徹底する。
- (32) 忘れ物は、廃棄する。またその旨を体育館使用上の注意に追記する(第37回より追記済み)。
- (33) 申請する選手名の誤りがないように各支部で確認した申請を徹底する。
- (34) 終了時間は16:00、16:30に撤収⇒要確認：体育館撤収時間=19:00
→タイムスケジュールコントロールを大会実行委員長が行う。